

2023年春

宇宙電波懇談会 総会

2023年3月10日（金） 12:00-13:00（オンライン開催）

<https://us05web.zoom.us/j/89890214504?pwd=czYzV04vK3BPN2RaUjR3MmFCYjZJZz09>

ミーティングID: 898 9021 4504

宇電懇運営委員会：藤澤健太（委員長）、江草芙実（副委員長）、河野孝太郎、百瀬宗武、高橋慶太郎、田村陽一
宇電懇事務局（国立天文台ATC）：松尾宏（事務局長）、金子慶子、小嶋崇文

議事次第

1. 運営委員会開催状況（2分、藤沢）
2. 宇電懇シンポジウム2022（5分、伊王野、藤沢）
3. URSI関連報告（5分、久野）
4. 学会会議関連報告（5分、藤沢）
5. 電波天文将来計画検討ワーキンググループ（5分）
6. 宇電懇ニュースについて（5分、藤沢）
7. 事務局活動報告（10分、松尾）
8. 各種報告・意見交換
 - 宇電懇総会・集会・運営委員会について
 - その他

1. 運営委員会開催状況

- 運営委員会開催状況

1. 2022/04/20
2. 2022/06/27
3. 2022/08/09
4. 2022/09/28
5. 2022/11/21
6. 2023/01/30

- 主な議題

- 宇電懇ニュース、学会会議への対応、将来計画WG、宇電懇シンポ、情報公開、等

2. 宇電懇シンポジウム2022

日程：2023年3月27日（月）－28日（火）

場所：ハイブリッド（国立天文台大セミナー室＋オンライン）

参加登録：139名（in-person:65名）

プログラム：招待講演13件、一般講演21件、ポスター講演17件（ポスターフラッシュ実施）

開催要旨：

2011年に初期科学運用を開始したアルマ望遠鏡は昨年10年目のマイルストーンを迎えました。近傍から遠方までの様々な天体を高感度・高解像度で捉えることにより、天文学研究全般にわたり質的転換をもたらし、私たちの宇宙に対する理解は飛躍的に深化しました。アルマ望遠鏡では、今後、科学運用を継続しながら、天文学研究をさらに進展させることを目的とした機能強化計画「ALMA2030: Wideband Sensitivity Upgrade」が段階的に進行します。一方、2030年代には、機能強化したアルマ望遠鏡に加えて、相補的な役割を担う観測装置の建設運用が計画されており、電波天文学は新たな局面を迎えます。本シンポジウムは、**10年間のアルマ望遠鏡の観測成果**を振り返るとともに**最新成果**を共有し、**関連する装置の観測成果や開発実績**も踏まえ、**2030年代の電波天文学を議論する**ことを目的とします。

SOC:

伊王野大介（国立天文台、Chair）、井上昭雄（早稲田大学）、小嶋崇文（国立天文台）、佐川英夫（京都産業大学）、高橋智子（国立天文台）、藤沢健太（山口大学）、武藤恭之（工学院大学）

LOC:

伊王野大介、金子慶子、小嶋崇文、高橋智子、松尾宏（国立天文台）

3. URSI関連報告

- URSI-GASS 2023 (<https://www.ursi-gass2023.jp/>)
 - XXXVth URSI General Assembly and Scientific Symposium
 - 日時：2023/8/19-26
 - 開催地：札幌
 - 早めに宿泊予約を
 - 講演申し込み：締切=2023/1/25 (2022/11/10から受付) **2/10まで延長**
 - Commission J (Radio Astronomy) で**307/242**の講演申し込み
 - 全体で1657/1474の講演申し込み
 - **参加登録：締切=2023/6/1 (Early、講演者)、6/15 (Midterm)、8/26 (Late)**
 - 表彰制度：2つの制度
 - Young Scientist Award (YSA)
 - Student Paper Competition (SPC)

4. 学術会議関連報告

天文学会向けの報告会（2023/3/9）より

1. 学術会議総会および関連する報告
 - 「学術会議法」の改正に関する政府の方針と現状について
2. 「未来の学術振興構想」策定状況
 - 宇電懇ほかコミュニティ団体から推薦（約30の計画）
 - 全体では194件の応募（人文社会9，生命科学17，理学工学78，分野融合90）
 - 20-30の「グランドビジョン」とその実現に必要な「学術研究構想」のリストとしてまとめられる
3. 大型・中型将来計画の冊子について
 - 「天文学・宇宙物理学分野の長期計画 – 2030-2040年代のビジョン –」として制作中
 - 今年10月までに公開予定
4. 次期会員・連携会員選考について
5. IAU分科会の活動報告
 - APRIM2023（郡山）、IAUS 380 Cosmic Masers（鹿児島）

5. 電波天文将来計画検討ワーキンググループ

- 経緯
 - 2021年、MP2023推薦を当面の課題として宇電懇に設置
 - 状況の変化、「未来の学術振興構想」への対応要請
- 現状
 - WGの新しい役割の議論を開始する（大西議長）
 - 第1回会議 2023/3/23(木) 13-15
 - 状況の理解、将来計画WGの役割の再定義
- メンバー
 - 現メンバーの任期は2023/5/31まで

6. 宇電懇ニュースについて

- 会員の情報媒体
 - <http://www.udencon.sakura.ne.jp/news/index.html>
 - No. 118, 119, 120発行
- 目的
 - 宇電懇会員の交流と情報交換の媒体
 - 宇電懇会員間に連帯感→電波天文学の発展を期待
- 発行予定と内容
 - 年数回発行予定
 - 将来計画、活動報告、各研究拠点・研究計画の紹介

宇電懇事務局報告

2022/9-2023/3

松尾 宏 事務局長、運営委員会対応、選挙管理

金子慶子 メール管理、会員情報管理

小嶋崇文 ウェブ管理、Google Form作成

主な活動

- 会員管理（詳細は次ページ）
 - メール不達への対応
 - ryunetへの登録アドレスは、日常使用しているアドレス1つを登録する。
 - 登録アドレスから別のアドレスへの転送はできるだけしない。
- ウェブ対応
 - 宇電懇ニュースの掲載（No. 118-120）
 - 議事録掲載の準備中
 - 国内電波天文学研究機関を追加掲載予定
- 予算管理
 - 現金 88,472円 → 宇電懇シンポジウムの運営費？

会員の動向（2022/9/10以降）

| | | |
|-----------------------|------|-------------------------------|
| 会員数：前回(2022.09.09)報告時 | 398名 | |
| 現在(2022.03.08) | 398名 | |
| 入会 | 8名 | |
| 退会 | 8名 | |
| うち強制退会 | 7名 | (退職や卒業を伴うメール不達) |
| 登録情報変更手続き | 8名 | <u>情報変更時はすみやかにご連絡を</u> |

- 宇電懇会員の勧誘について、よろしくお願ひします。
- 入会・変更届（Excel Format）
※フォーマットを使用していただけると作業がスムーズですが、必要情報のみの連絡も可です。
 - 加入希望者氏名(旧姓使用など通称でも可)
 - 上記の読み仮名
 - 連絡先住所（都道府県から。郵便番号も）
 - 所属機関(空白可)
 - 連絡先電子メールアドレス
- 会費・入会金などは無料です。

8. 各種報告・意見交換

- 宇電懇総会・集会・運営委員会について
 - 議事録・資料の開示：準備中、3月末までに公開する予定
- その他